

## 健康長寿に係る先進的な取組事例

### 宮 代 町

#### ～ こくほ トクトク健診キャンペーン ～

##### (1) 取組の概要

宮代町では40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の大基となるメタボリックシンドロームの予防・解消を目的とした特定健康診査を平成20年度から実施しております。平成26年度には対象者のうち約36%が受診し、埼玉県の平均受診率に近づいております。しかし、働き盛りの40歳代の方の受診率は低く、13～14%程度となっています。

この事業では、特定健診又は職場での健康診査（特定健診と同等のもの）を受診し、かつ胃がん、肺がん、大腸がん検診の中から2つ以上の検診を受診した方を対象として、新40歳の対象者全員及び41～69歳の対象者の中から抽選で100名の方に記念品を贈呈するものです。なお、記念品については町内各所で利用しやすく応募する関心を高めるものとして商工会の発行する商品券を予定しています。

継続受診者及び新規対象者に対して受診勧奨対策を実施することにより、定期的な健診の受診環境を整えることができ、医療費の増加の原因となるような疾病の予防に繋がるものと思われます。

##### (2) 取組の契機

###### (ア) 健診受診への意識と受診率の軋轢

町民に対し実態調査を行った中の「健康保持や疾病予防などのために、何か取り組まれていることがありますか？」という質問に対し、「定期的な健診や診療を受ける」という回答自体は48.9%と高いが、実際の受診率については30%程度から微増しているものの、伸び悩んでいる状況です。

###### □特定健康診査の過去3年間の受診状況

	H23	H24	H25（見込）
受診率	29.7%	31.6%	33.5%
受診者数	2,130	2,301	2,451

###### (イ) 年齢別の受診状況

現在の受診状況を年齢別によると40代⇒10%台、50代⇒20%台、60代以上⇒30%以上となっています。一般的に年齢が高くなるほど疾病の発症率は高くなること、継続して受診することにより疾病の早期発見・早期治療が可能となることから、若

年層には継続受診を促す必要があります。

中でも特に40代については受診率が低いため、最初の意識付けが重要です。

□特定健康診査年齢別受診率

単位：％

年齢 年度	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	合計
H23	10.7	14.7	13.6	22.3	30.2	44.4	26.1	28.2
H24	13.4	13.1	17.7	28.5	32.5	46.8	29.3	30.8
H25	13.2	14.4	23.4	25.0	34.1	48.0	31.1	32.1



□40歳の受診者数及び受診率

	H24	H25
受診者数(特定健診)	18	16
対象者数	124	104
受診率(%)	14.5	15

(ウ) 取組の内容

事業名	こくほ トクトク健診キャンペーン
事業開始	平成27年度

	平成27年度
予算	25万1千円 ( 事務費 1万円 郵送料 1万1千円 記念品 22万円 抽選ソフト 1万円 )
対象人数	240人程度
期間	平成27年4月～平成28年2月

① 広報での紹介(平成27年7月)

特定健診・がん検診の記事と同時にこくほトクトク健診キャンペーンの記事を町広報に掲載し、PRに努めた。

② 各種健診の実施(平成27年4月～平成28年2月)

集団健診による特定健診・胃がん・肺がん健診の実施、及び個別による人間ドック健診・特定健診・大腸がん検診を実施。

③ 健診結果の入力(平成27年11月～平成28年1月)

委託先からの情報提供及び人間ドック補助金申請の内容に伴い、受診結果の情報を端末へと入力。

④ 対象者リストの作成（平成28年1月～2月）

受診情報に基づき、事業の対象者（40歳到達者・41～69歳で複数受診者）をリストアップ。

⑤ 抽選（平成28年3月予定）

41～69歳の対象者については抽選ソフトを使用し、100名の記念品受賞者を抽出。

⑥ 記念品の発送（平成28年3月予定）

商工会に商品券を発注。納品後、受賞者へ記念品を郵送。

⑦ 結果報告・次年度事業の周知（平成28年4月予定）

町広報にH27年度の事業についての報告記事とH28年度の事業実施に関する記事を掲載。

（エ）取組の効果

今年度からの新規事業であるため現時点の具体的な効果は不明であるが、この事業に関する問い合わせは何件かいただいた。

（オ）創意工夫した点

①若年層（新40歳全員）への記念品贈呈

特定健診を継続して受診している人は普段から健康への意識も高く、比較的若い年齢から受けている人が多い。受診が初めて可能となる40歳での受診者全てに記念品を贈呈することにより、自身の健康と健康診断への意識を高めてもらう。

②商工会の商品券を記念品に

飲食・小売・サービス業など多岐に渡って地元店舗で使用できる商品券を記念品とすることで、遠出が困難な高齢者にも利用しやすく地域経済の活性化を図った。

（カ）課題、今後の取組

事業の目標としてH29年までに

①特定健診受診率の県平均（H29年度時）の達成

②新40歳の特定健診受診率の向上（H25実績15%⇒30%）

③特定健診新規受診者割合の向上（H25実績3.4%⇒12%）

平成29年度に評価・検証を実施し、平成30年以降の事業の実施の有無を検討する。